平成20年度　施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成20年6月　日記入

基本目標	躍動し　魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	34140
政策名（章）	第4章　広域交流都市を形成します	評価担当局	都市建設総務室
基本施策名（節名）	第1節　魅力ある広域交流拠点の整備	施策所管課	都市交通計画課
施　策　名	広域交通ネットワークの整備	課長名	石川敏美

1　施策の目的・概要（目的はわかりやすく記入）

都市活動を支える鉄道、バス、道路等の交通ネットワークの充実など交通利便性の向上を図り、地域の特性を生かしたにぎわいのある中心市街地の形成や、多用な都市機能を有する新しい拠点づくりを進める。　また、広域交通網の充実を図るため、国、県及び関係機関に対する要望活動など、他都市と連携した整備促進に努める。

・リニア中央新幹線整備促進事業、相模線複線化等促進期成同盟会
・小田急多摩線延伸促進事業
・都市交通施設整備基金積立金

2　事業費・人員

（単位：千円）

年度	平成17年度（決算）	平成19年度（決算）	増減の主な理由
事業費	222,996	6,741	
人件費	58,121		
市民一人あたりの事業費（単位：円）	334	10	
合計	281,117	6,741	

＊人件費は、職員一人あたり　H17：805万円、H19：805万円として算定。人口は、66.7万人（H18.4.1現在）、70.6万人（H20.4.1現在）とした。

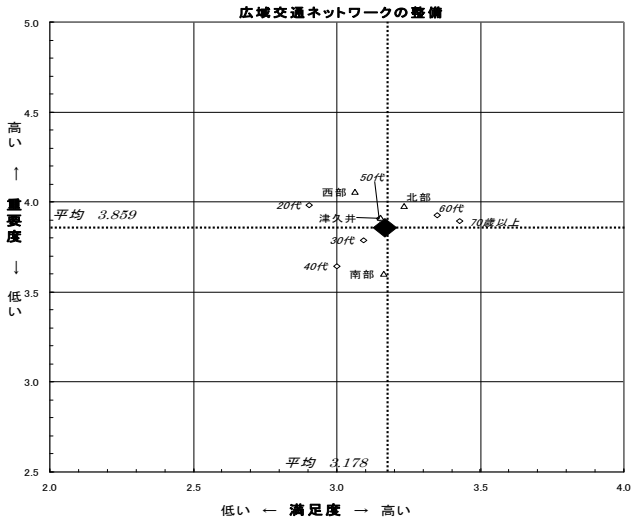
3　成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方（根拠）
指標1	要望事項に対する実現等実績割合	目標値＝（要望件数−長期的な要望）／（全体要望） 実績値＝（実現・一部実現件数＋前向きの回答件数）／（全体要望）	要望項目全体に対して、長期的な取り組みが必要な項目を除いた要望の達成率を目標とする。
指標2	ターミナル駅の乗降者数の対前年伸率	目標値＝八王子駅、町田駅の合計乗降者数の対前年伸率 実績値＝橋本駅、相模原駅、相模大野駅の合計乗降者数の対前年伸率	総合都市交通計画にターミナル駅として位置づけられている、橋本、相模原、相模大野各駅の合計乗降者数の対前年伸率が、近隣ターミナル駅である、八王子、町田駅の乗降者数の伸率以上となることを目標とし、広域的な移動のしやすさの指標とする。
指標3			
指標4			
指標5			

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1（単位：%）	H17	86.2	57.0	65.9	57.0		57.0		57.0	
事業費／人員										
指標2（単位：%）										
事業費／人員										
指標3（単位：%）										
事業費／人員										
指標4（単位：%）										
事業費／人員										
指標5（単位：%）										
事業費／人員										

4　市民満足度調査結果（平成20年度実施分）

〇この施策の満足度は3.167で121施策の中で51番目。
〇重要度は3.856で63番目である。
〇改善要望度は0.0058で58番目である。
〇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、20代で最も低くなっている。重要度は20代で最も高く、40代で最も低くなっている。
〇地区別にみると、満足度は北部で最も高く、西部で最も低くなっている。重要度は西部で最も高く、南部で最も低くなっている。



5　1次評価（2つの視点から評価を行う）

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回（H18）評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	(4) 2　1	4 (2) 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4　2 (1)	4　2 (1)	
合計		5	評価結果に基づく区分（2項目の合計点数による） A（6点以上）　B（5点・4点）　C（3点以下）	1次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6　課題と解決策（現状または、評価結果から）

課題	長期的な事業もあり、実現に向けての課題が多い。
解決策	関係団体等との調整に努め、課題の解決を図るとともに、関係市町との連携を深め、より効果的な促進活動を粘り強く展開する。

7　2次評価及び意見（1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入）

客観的に成果を測定できる指標設定を行う必要がある ⇒指標2に「ターミナル駅の乗降者数の対前年伸率」の指標を追加設定した。	2次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8　3次評価及び意見（評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入）

	3次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

広域交通ネットワークの整備

コード	34140

構成事務事業一覧

単位：千円

事務事業担当課	構成事務事業	H19決算見込（事業費）	H20予算（事業費）	H21見込額（事業費）	事業効果の高い指標番号	前回の優先順位	H17人員（人）	H17決算額（事業費）	H17合計（人件費含む）
都市交通計画課	リニア中央新幹線整備促進事業~~（再）~~	135	171	171	1	4	0.07	263	827
~~国県道対策室~~	~~相模原津久井広域道路及び国道413号整備促進協議会（再）~~								0
~~国県道対策室~~	~~首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会（再）~~								0
都市交通計画課	相模線複線化等促進期成同盟会負担金~~（再）~~	100	100	100	1	4	0.30	100	2,515
都市交通計画課	鉄道輸送力増強促進団体経費~~（再）~~	304	504	504	1	4	0.04	396	718
~~都市交通計画課~~	~~バス交通対策推進事業（再）~~					4	0.08	6,543	7,187
~~都市交通計画課~~	~~バス活性化事業（再）~~					5	0.03	4,860	5,102
~~都市交通計画課~~	~~コミュニティバス運行事業（再）~~					6	0.19	15,209	16,739
~~都市交通計画課~~	~~バス乗り継ぎ施設整備事業（再）~~					7	0.11	8,589	9,475
~~都市交通計画課~~	~~新しい交通システム検討事業~~					8	2.00	12,380	28,480
~~道路整備課~~	~~相模大野線用地購入事業（再）~~					10	0.20	2,780	4,390
~~道路整備課~~	~~相模大野線道路改良工事（再）~~					11	0.20	23,691	25,301
~~道路整備課~~	~~淵野辺山王線用地購入事業（再）~~					9	0.10	0	805
~~道路整備課~~	~~橋本北口線用地購入事業（再）~~					13	2.00	76,988	93,088
~~道路整備課~~	~~下九沢淵野辺線道路改良事業（再）~~					16	0.20	13,578	15,188
~~道路整備課~~	~~下九沢淵野辺線用地購入事業（再）~~					15	0.80	21,087	27,527
~~道路整備課~~	~~相原大沢線用地購入事業（再）~~					12	0.10	0	805
~~道路整備課~~	~~町田南大野線道路改良事業（再）~~					14	0.80	36,532	42,972
都市交通計画課	都市交通施設整備基金積立金		304,500	60,900					0
小田急多摩線・新交通推進課	小田急多摩線延伸促進事業	6,202	10,100	15,000	1				0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		6,741	315,375	76,675			7.22	222,996	281,117